第 107 回

熊本整形外科医会

令和7年12月20日 (土)

 $(13:20\sim17:30)$

医学部総合研究棟 3階講習室

(場所は2頁に掲載しています)

参加者へのお知らせ

(1) 会場費 1,000 円を会場受付でお支払い下さい。

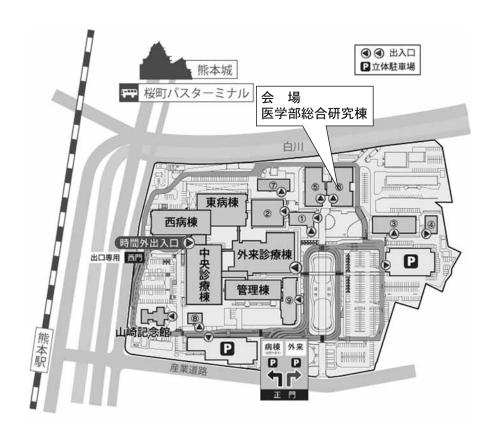
演者へのお願い

- (1) 発表は5分、討論は2分です。講演終了の1分前に青ランプ、30秒前に赤ランプ、終了時に ブザーでお知らせします。会の進行上、時間を厳守して下さい。
- (2) スライドは一面に限ります。スライド進行は演者台右側のブザーを押して合図して下さい。
- (3) スライド発表はコンピューター(PC)を使用して行います。
- (4) 発表データはフラッシュメモリーでご準備下さい。 持ち込みの PC での発表はできません。
- (5) 事務局で準備する PC の発表データの形式は Operating System: Windows 11、ソフト: Power Point (Version: 2019)です。Macintoshの使用を希望される場合は、事前に事務局までご連絡下さい。
- (6) フラッシュメモリーの作成要項
 - ① 事務局では Windows 版 Power Point 2019 をインストールされたPCを用意しています。この形式以外のデータは、文字化けや表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
 - ② フォントは Windows 版 Power Point 2019 に標準装備されたものをご使用下さい。 レイアウトの異常を防ぐため「MS ゴシック」「MS 明朝」「Times New Roman」「Century」をお薦め します。
 - ③ ファイル容量は 10MB 以下として下さい。これを超える場合は、取り込んだ画像のサイズが大きい、解像度が高い、画素数が大きいことが考えられます。1 つの画像に取り込む解像度は 200dpi 程度、ファイル容量は 200KB 位までが適切と考えられます。PhotoShop などの画像ソフトを用いて、サイズを小さく、解像度を落として、JPEG などで圧縮して Power Point に取り込むようにして下さい。
 - ④ 動画やアニメーションは、動作不良の原因となることが多いため、原則として使用しないで下さい。どうしても必要な場合は、事前に事務局にご連絡下さい。

- ⑤ ファイル名は「演題番号」 「演者名(フルネーム)」として下さい。 例)18-熊本太郎
- (7) <u>発表の 30 分前まで</u>に、会場入り口のデータ受付にフラッシュメモリーをご提出下さい。データ 受付にはオペレーターが待機しておりますが、文字化け、段落の崩れ、動作確認は必ずご自 身でご確認下さい。

発言者へのお知らせ

(1) 座長の許可を得た後、所属氏名を明らかにした上で簡潔にお願いします。



開会 13:20 座長 湯上 正樹 13:30-14:051) 高度な前足部変形に対する足趾形成術における皮切の工夫 熊本大学病院·整形外科 ○髙田 弘誠 湯上 正樹 内田 裕己 唐田宗一郎 吉村 直人 上原 悠輔 宮本 健史 2) Nitinol staple を用いて骨接合術を施行したリスフラン関節脱臼骨折の治療経験 ○内田 裕己 1),2) 湯上 正樹 3) JCHO 人吉医療センター・整形外科 1) 済生会熊本病院·整形外科²⁾ 安樂 喜久 2) 薬師寺俊剛 1) 熊本大学病院·整形外科³⁾ 宮本 健史 3) 3) 距骨骨折に対する距骨外側プレート 国立病院機構 熊本再春医療センター・整形外科 1) ○唐田宗一郎 1) 湯上 正樹 2) 熊本大学病院·整形外科²⁾ 今村 悠哉1) 堀川 朝広1) 山下 武士1) 緒方 宏臣1) 宮本 健史2) 4) 前足部の皮膚障害を伴う中足骨変形癒合に対して経皮中足骨骨切り術を施行した 1 例 整形外科桜木クリニック ○小田切陽樹

○小田切陽樹

5) 強剛母趾に対する中足骨短縮骨切り術の治療成績

整形外科桜木クリニック

14:10-14:45 座長

座長 束野 寛人

6) 外傷性肘関節症に対し人工肘関節全置換術を行った1例

熊本大学病院・整形外科 ○赤穂 拓海 米満 龍史

井手淳之介 松永 英人 入江 弘基 宮本 健史

7) 静脈移植後,腹壁皮弁にて再建を行った手指ヒートプレス損傷の1例

くまもと県北病院・整形外科 ○片山 修浩 安岡 寛理

中原潤之輔 浦田 泰弘 吉村優里奈 笹岡 眞光

田口 結理

8) 小児陳旧性 Monteggia 骨折の治療経験

9) 肘関節後外側回旋不安定症 (PLRI) の治療経験

10) 屈筋腱腱鞘炎の治療後に bowstringing を呈した 3 例

大森 康宏 小笠原正宣

壷井 広大

14:50-15:20

座長 徳永 琢也

11) 上腕骨近位端骨折に対する fixsorb ロールの使用経験

JCHO 人吉医療センター・整形外科

○松下 紘三 後藤 裕之

大島 慶久 松下 祥大 鶴上 雅浩 薬師寺俊剛

12) 大腿筋膜を用いた鏡視下上方関節包再建術の成績

熊本大学病院・整形外科

○谷村峻太郎 徳永 琢也

唐杉 樹 宮本 健史

13) リバース型人工肩関節当院使用機種における外方化と上腕骨骨切り量

JCHO 熊本総合病院・整形外科

○菊川 憲志 荒木 崇士

後生川 輝 高野 義晴

中原 達秀 福田 雅俊

白石大偉輔

14) Pitching における Lagging back (しなり) の背後因子 肩甲骨と骨盤との協調機構

医療法人せいすい会 あそうだ整形外科クリニック ○浦田 節雄 坂本 公宣

永野 章雄 林 達郎

小野建一郎 合志 和展

福田 廉人 前田 美海

桑原 宏崇 大坪 由依

東 滉太 日野 邦彦

休憩 15:20-15:35

15:35-16:05

座長 松下 紘三

15) KA—TKA 法における下腿牽引の工夫—バランスを考えて—

国立病院機構熊本医療センター・整形外科 ○中瀬 啓太 福元 哲也

前田智中馬東彦福田和昭興梠航満瀬葉介浅沼涼平

16) IL-DTO と conventional OWDTO の X 線学的比較・検討

国立病院機構熊本再春医療センター・整形外科 〇堀川 朝広 古賀 大智

石川 喜仁 唐田宗一郎 今村 悠哉 山下 武士

17) 骨髄鏡で病巣掻爬し内固定を行った大腿骨脛骨病的骨折の一例

くまもと県北病院・整形外科

○笹岡 眞光 安岡 寛理

中原潤之輔 浦田 泰弘

片山 修浩 吉村優里奈

田口 結理

18) 大腿骨転子部骨折術中の透視画像と術後レントゲン画像の比較

―皆さんは透視画像で何が見えていますか―

国立病院機構熊本医療センター・整形外科 ○浅沼 涼平 福元 哲也

 前田
 智
 中馬
 東彦

 福田
 和昭
 興梠
 航

満瀬 葉介 中瀬 啓太

16:10-16:40

座長 岡田 龍哉

- 19) 化膿性脊椎炎に対する内視鏡治療の検討 熊本市民病院・整形外科
- ()東 宗一郎 岡田 龍哉 渡邉 弘之 酒本 高志 寺本 周平 髙島 佑輔 相良 孝昭
- 20) 硬膜内に発生した脊髄サルコイドーシスの1例 熊本大学病院・整形外科
- 〇大川内健将 中村 孝幸 柴田 悠人 杉本 一樹 山田祐莉子 谷脇 琢也 立山 誠 宮本 健史
- 21) トラネキサム酸の ACDF 術後出血抑制効果について 熊本中央病院・整形外科
- ○井上
 哲二
 今泉
 茜

 有馬
 嵩博
 畠
 邦晃

 川谷
 洋右
 水溜
 正也

 阿部
 靖之
- 22) 骨粗鬆症性胸腰椎椎体骨折に対する Baloon kypho plasty 単独施行例の検討

熊本中央病院 • 整形外科

 ○井上
 哲二
 今泉
 茜

 有馬
 嵩博
 畠
 邦晃

 川谷
 洋右
 水溜
 正也

阿部 靖之

16:45-17:30

座長 上原 悠輔

23) 腸腰筋膿瘍が疑われた、急速破壊型リウマチ股の1例

国立病院機構熊本医療センター・整形外科 ○満瀬 葉介 福元 哲也

 前田
 智
 中馬
 東彦

 福田
 和昭
 興梠
 航

 中瀬
 啓太
 浅沼
 涼平

24) 筋膜バランスを考えた前方系 THA での体位

―より内転を楽にするために健側上肢を曲げてみませんか―

国立病院機構熊本医療センター・整形外科 ○興梠 航 福元 哲也

前田 智 中馬 東彦

福田 和昭 満瀬 葉介 中瀬 啓太 浅沼 涼平

25) THA 後の腸腰筋腱炎に対する腱切離術後の中期長期成績―短期との違い―

国立病院機構熊本医療センター・整形外科 ○福元 哲也 前田 智

中馬 東彦 福田 和昭

興梠 航 満瀬 葉介

中瀬 啓太 浅沼 涼平

26) 当科の THA における hidden blood loss のリスク因子の検討

熊本市民病院・整形外科

○髙島 佑輔 渡邉 弘之

岡田 龍哉 酒本 高志

寺本 周平 東 宗一郎

相良 孝昭

27) 当科における一期的両側 THA についての検討

熊本市民病院・整形外科

○寺本 周平 渡邉 弘之

岡田 龍哉 酒本 高志

髙島 佑輔 東 宗一郎

相良 孝昭

28) OTS™ Hip Guide システムを用いた仰臥位THAにおけるカップ設置精度の検証

熊本大学病院 • 整形外科

○松岡 直樹 上原 悠輔

吉村 直人 湯上 正樹

髙田 弘誠 宮本 健史

17:30 閉 会